

第七十一回 社会を明るくする運動 入賞作文集



神奈川県公立小学校校長会長賞

胸をはつて

横浜市立岸谷小学校 六年 高野彩香

みなさんは今の日本が「安全・安心」だと思いますか。私は、今の日本が安全・安心な社会になつてているとは思いません。それは、「〇〇くんが誘拐されました。」や「二年前に行方がわからなくなつた〇〇ちゃんが一年たつた今でも行方が分かつていません。」といったニュースが毎日のようにテレビで流れているからです。私と同じくらいの歳の子が誘拐されるニュースなどを目にすると他人事とは思えません。もしかすると自分も同じような目にあつてしまふのではないかと考えてしまいます。このような状況で今の日本は安全・安心といつてよいのでしょうか。

では、誰もが安全で安心できる町にしていくためには、どのようなことをしていけばいいのでしょうか。私が出した答えは、地域の方の協力を得ることです。もし、自

分自身が下校途中に不審な人に声をかけられたときには、どのような対応をすればよいのか困ってしまうと思います。地域の方と協力を得ることができると、その様子を見かけた地域の方が声をかけて対応していただき、身を守ることができるのはないかと思います。地域の方の多くの目によつて私たちの安全を見守つていただくことができるのではないかと考えました。そのためには、地域の方に私たち小学生の顔を覚えてもらい、私たちのことを知つていただく必要があると思いました。

岸谷小学校では、学援隊の方々が通学路に毎朝立つてくださっています。六月に行われた『学援隊さんお願ひしますの会』の時に、校長先生が「学援隊の方に会つたときには、自分がら進んで挨拶をしましよう。」とおっしゃっていました。その時のことを思い出し、私は地域

の方に顔を覚えていただく方法の一つとして毎朝きちんと自分から挨拶をすることが重要であると考えました。

その他にも、地域の方が開催している行事には、積極的に参加したりすることで、地域の方々との交流を広げることができます。

私たちばかりが地域の方にお世話になるのではなく、重い荷物を持つているときには一緒に持つたり、困っている様子を見かけたときには、「大丈夫ですか。」と声をかけたりすることなどができると思います。

同じ地域に住んでいる人同士が互いに支え合っていくことで、安全安心な町そして国になつていくと感じます。そのためには、互いに歩み寄り、丁頃から交流を深めていくことが重要です。地域みんなの日で自分たちの安全を守つていき、みんなが安心できる町にできるよう私も多くの方と関わつていきたいです。いつか「日本は安全・安心な国である。」と胸を張つて言える日がくることを願っています。

